



# NPOバンクサポーター便り

2010年1月  
Vol. 32



## 新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。

21世紀がスタートして10年、2010年が始まります。昨年の日本社会の一大話題は、何と言っても「政権交代」でしょう。課題山積みの鳩山政権の支持率は、社会体制を変化させる時に起きる「混乱」を受けて下降気味ですが、政党の支持率をみると自民党が持ち直す気配はなく民主党の政権は暫く続きそうです。これも、あの「事業仕分け」が影響しているのでしょうか。国民に国が抱えている社会の課題を身近にし「我が身のこと」として知らしめた効果があったと思います。しかし、省庁が積み上げる予算方式は、すぐには変えることはできません。結果、税収が落ち込む状況にも関わらず、国家予算は膨らみ続けました。本格的な高齢社会が始まる一方では、日本人の人口は減少する状況も明らかになりました。2007年の13,000万人をピークに2055年（現在10歳の子どもが55歳）になる未来の人口は4000万人も減ると予想されています。この国の未来は・・・？



しかし、変化の兆しは感じられるようになりました。それを鑑みると、NPOのあり方、バンクのあり方へも「仕分け作業」が求められる年でもあるでしょう。私達、それぞれのNPOも出会い直し、紡ぎ直しをする一年でありたいと思います。

高木晴光（北海道NPOバンク事業組合 理事長）

### 一年頭にあたってー

杉岡理事長や河西副理事長をはじめ、バンク関係者のみなさんのご厚意に甘え、昨年9月より米国NYで1年間の在外研修の日々を送らせていただいています。日本を留守にしましたこの僅か数ヶ月の間に、あのムハマド・ユヌスさん（グラミン銀行）が札幌にいらっしゃるなど、嬉しいような、（「生ユヌスさん」を一目見る機会を逃した僕には）ちょっと残念なような状況が現出していますが、いずれにしろ、ここへ来て、北海道でも市民金融に対する人々の理解と関心がイッキに高まっていることの証左かと思えます。



しかしながら、一方で、こうしてほぼ20年ぶり、2回目のアメリカ暮らしをはじめてみますと、市民社会を下支えする制度やしくみの日米間格差はまだまだ大きいなあ、と思うこともしきりです。

たとえば、こちらに着任してすぐ、Bank of America（いわゆるバンカメですね）でキャッシュカード兼クレジットカードをつかったのですが、申し込み用紙を記入する過程で「お気に入りの活動を選べ」と言われ、20やそこらの団体リストのなかからNPOをひとつ名指しすることを求められました。結果、僕のお財布のバンカメカードには、札幌でもお馴染みのMake-A-Wishのひととき大きなロゴが燦々と輝いています。あるいは拒否することもできたのですが、それはもう有無を言わず…という感じでして、喩えていえば、カレーライスには福神漬が、焼きそばには紅ショウガがついてくるもんだ、のごとくでありました。

ATMやマネーカード機能などを通じた経済活動は私たちの生活を便利で快適なものにしてくれます。だとしたら、その恩恵の何がしかが、もう一方で市民生活を彩り豊かなものに行っている民間非営利活動にも向かって当然、という社会的な合意が出来ているのだ、そう考えました。アメリカに負けないよう、今年もまた1年、北海道でのNPOバンクの存在を福神漬や紅ショウガなものにしていきたい、との決意を新たにしています。

樽見弘紀（北海道NPOバンク 副理事長）

## 【出資者の皆様へ】住所変更について

NPOバンクは、2009年12月現在で延べ数にして160件、総額およそ2億5千3百万円の資金融資を実行してきましたが、この活動実績を担保してきたのは、言うまでもなく、みなさまから頂戴した多くのご支援、すなわち出資金や寄付金です。

しかしながら2002年の活動開始以降、引越や転職、解散などの理由により出資者の方に『サポーター便り』や毎年の議案書をお届けすることができないケースがしばしば起こるようになってきました。

そこで、組合員加入時より住所を変更なさる方は、是非ともNPOバンク事務局へご連絡いただけますよう、お願い申し上げます。

住所：〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2F NPOバンク事務局 宛

TEL：011-204-6523 FAX：011-261-6524

e-mail：npobank@npo-hokkaido.org

(メールの場合は件名を「(NPOバンク事業組合)住所変更届け」としてください。)



## ◆北海道NPOバンクの第29回融資が決定しました。 今回融資を行う6団体をご紹介します◆

### NPO法人 ふれあいサロンさろま

高齢になっても住み慣れた場所で生き生きと暮らし続けたいと願う地域の高齢者に対してさまざまな介護サービスを行うと共に、身体障害者並びに知的障害者に対して自立生活を営めるよう介護サービスを行っています。今回、新たに宅老所とコミュニティの場「街の駅わかさ」を開設しました。「街の駅わかさ」は、ふれあいカフェや佐呂間の特産品を備えた売店があり、農村コミュニティ事業として、定期的に野菜市や、などのイベントを開催しています。

- ◆融資金額 200万円(運転資金)
- ◆理事長 藪 香寿枝
- ◆住所 北海道佐呂間郡佐呂間町字若佐 41-3
- ◆TEL 01587-2-8438
- ◆URL <http://blog.canpan.info/fureaiinsaroma>

### NPO法人 農業塾風のがっこう

農業を通じて、農村と障害者、団塊世代を繋ぐ活動をしています。障害者や団塊の人たちに生産、加工、販売を指導し、収穫、加工した商品を、自ら販売すること、それらの行程を仲立ちしながら、農村を理解し、コミュニケーションをはかっています。農業において不足している労働力の確保と障害者の方が住民の一人として地域で安心して暮らせるようなシステムのモデル構築を行っています。

- ◆融資金額 200万円(つなぎ資金)
- ◆理事長 鎌田 昌市
- ◆住所 札幌市南区南沢3条2丁目15-15
- ◆TEL 011-571-3387
- ◆URL <http://www.kaze-school.com/index.html>

### 特定非営利活動法人 工房恵庭運営委員会

誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し、障害者に対して社会参加の促進と自立を図るための支援をおこなっています。10月から就労継続支援B型事業所へ移行しました。利用者は、刺し子フキン・ウェスづくりや清掃作業など、毎日生き生き活動しています！

- ◆融資金額 100万円(運転資金)
- ◆代表 岡崎 眞佐子
- ◆住所 恵庭市柏木町542-13
- ◆TEL 0123-32-8338



### NPO法人 教育キャリアプロデュース

学校教育と社会とつなぐスキームづくりを行っています。社会の地域資源を学校教育に活用し、双方の活性化を図ります。現在、北翔養護学校土曜友の会サポート、教員向けカラーセラピー講習会、学校サポーター研修プログラム開発、学校のインターシップ支援、見学旅行・宿泊研修プログラムサポート、キャリア教区コーディネーター育成などを行っています。

- ◆融資金額 50万円(運転資金)
- ◆理事長 三井 貴之
- ◆住所 札幌市北区北8条西3丁目札幌エルプラザ2F  
札幌市民活動サポートセンター内8ブース
- ◆TEL 011-757-5730
- ◆URL <http://www5.ocn.ne.jp/~ecp/index.htm>

## 特定非営利活動法人 みなば

「みなば」は、アイヌ語で「共に笑う」という意味です。障がいがあっても、なくても、赤ちゃんからお年寄りまで、生まれ育った地域の中で、楽しく共生できる居場所づくりを目標として活動しています。地域の中で気軽に相談ができる、開放された事務所として、出会う一人ひとりとのあたたかな関係づくりを大切にしたいと考えています。要介護の方々の豊かな生活をお手伝いするために、9月に指定居宅介護支援事業所を開設、12月に福祉有償運送登録をしています。平成22年4月に訪問介護サービスを開設予定です。

- ◆融資金額 200万円（運転資金）
- ◆代表 中村 絵梨子
- ◆住所 札幌市南区南34条西11丁目2-12
- ◆TEL 011-581-3784

## ほかげ

NPO法人ほかげは、都市部の若者と地域とが一体となって取り組む『田舎残し』の活動を通じて、平取町を活性化するための活動を推し進めています。また、その活動を他の農山漁村へと拡大することで、地域が次の世代の手によって再生されていく礎を築くことを目的とし、集落支援員センターづくり、新たな公の研究、企画、実施などに取り組んでいます。都市の成立に不可欠な田舎、次の世代を担う子どもたちに不可欠な田舎、そんな田舎の確立を活動目的としています。

- ◆融資金額 200万円（つなぎ資金）
- ◆理事長 鈴木 透
- ◆住所 沙流郡平取町字幌毛志93-4
- ◆TEL 01457-3-3661
- ◆URL <http://furenai.com/hokage>

## 連載コラム：【第3回 融資審査はムズイです。】

融資審査では、提出していただいた書類と面接によって、その団体の社会性や事業の状況・財務状況・資金繰り計画など9項目23種類のチェックポイントを合計100点満点で点数化します（融資判定表はバンクのホームページで公表しています）。

判定について一定の基準はありますが、各項目に何点を付けるかは、担当審査委員の裁量に委ねられるところが少なくありません。「それじゃ、誰が担当になるかで差が出るじゃないか」とお思いかもしれませんね。たしかに審査委員ごとの評価基準の差はありますが、融資可否を理事会に上申する内容は、申込団体ごとに委員全員で審査し多数決で決定します。それは「他の団体と比べて得点が高いか低いか」という理由で決まるわけではないわけです。

審査委員は全員、「何とかこの団体の活動を支援したい」と思いながら審査をしていますし、2回の審査委員会では、担当した団体になりかわって質疑に一生懸命答えます。それでも思わしくない結果になった場合には、わが身の不幸を嘆きたくなるほどです（苦笑）。

ホント、融資審査はムズイです。

（北海道NPOバンク審査委員長 大原昌明）



## NPOバンク融資申込みのお知らせ

- 第30回融資 → 申込開始2010年1月15日～2月1日／融資実行3月中旬以降
- 第31回融資 → 申込開始2010年4月16日～5月7日／融資実行6月中旬以降

\*上記日程はあくまで予定ですので事務局までお問い合わせ下さい\*

融資の詳細についてはHPでもお知らせしています <http://npobank.dosanko.org/>

ブログ始めました！ ⇨ [http://blog.canpan.info/npobank\\_h](http://blog.canpan.info/npobank_h)

